

第4章 計画の推進、検証・評価

1) 計画の推進体制

(1) 八尾市社会福祉審議会、八尾市社会福祉審議会地域福祉専門分科会

学識経験者をはじめ、各福祉分野の団体・関係者及び市民委員等で構成する「八尾市社会福祉審議会」及び「八尾市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」において、毎年度計画の進捗状況等について、報告・点検を行い、本計画の推進を図ります。

(2) 庁内連携体制の構築

地域福祉計画は、高齢、障がい、子ども、防災など、多岐にわたる分野との連携が必要となります。そのため、庁内の関係各課と適宜連携を図り、問題や課題の解決に努めます。

(3) 社会福祉協議会との連携

地域福祉の推進にあたり、社協との連携は必要不可欠です。
社協と適宜、意見交換・情報共有・検討を行いながら、施策・事業の推進に取り組みます。

2) 計画の点検・評価（進行管理）

計画の評価にあたっては、本計画で定めた指標の達成に資する事業を設定し、アウトカム・アウトプットによる評価を行います。

また、10の実行計画の進捗状況を計るため、毎年、掲載している具体的な取組（58の取組み内容）に係る事業や取組についてリストアップし、その実施状況について確認を行っていきます。

指標一覧

基本目標と実行計画	項目	現状 令和元年度 (2019年度)	目標 令和10年度 (2028年度)	
基本目標1 身近な地域でつながり支え合う 基盤づくり	地域での福祉活動が活発だと思う市民の割合	29.9%	60.0%	
	(1)地域福祉への意識、関心の啓発・醸成	さまざまな人がつどい学べる場の修了者数	－	100人
	(2)地域力向上に向けた支援	八尾市地域福祉推進基金活用件数	8件	20件
	(3)見守り・早期発見のしくみづくり	見守り活動への協力事業者数	701件	750件
「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数		－	28小学校区	
基本目標2 多様な主体の参加支援と連携・協働の推進	地域活動や市民活動に参加した経験がある市民の割合	41.6%	60.0%	
	(1)幅広い市民の参加促進	地域資源マップ登録者件数	326件	400件
	(2)地域福祉の担い手のすそ野拡大	地域の福祉活動に関わっているボランティアセンターにおける福祉ボランティア登録者数	1,852人	2,000人
		市民後見人バンク登録者数	28人	60人
(3)多様な主体との連携強化	地域内のさまざまな主体での会議回数 (高齢者、障がい者、学校園等、保育所(園)、児童に関する地域内施設等)	41回	67回	
基本目標3 身近な地域で支援が届くしくみづくり	つなげる支援室で支援調整などを行った件数	－	250件	
	(1)地域の権利擁護の推進	権利擁護に関する相談件数(チーム派遣・個別相談・専門相談・市民後見人相談の合計)	－	200回
		市民後見人の受任件数	5件	20件
	(2)生活困窮者への支援	相談件数に占める生活困窮者自立支援プランを作成した割合(率)	47.47%	50%以上
	(3)災害時要配慮者への支援づくり	「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数	－	28小学校区
	(4)支援機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり	つなげる支援室で支援調整などを行った件数	－	250件